

## 二〇二五年度博士後期課程外国人留学生入学試験・二〇二四年度外国語能力試験 問題

早稲田大学大学院法学研究科

## 日本語小論文

研究指導名… 労働法 研究指導

教員名… 水町勇一郎

会社の経営状況が悪化するなかで、会社は従業員の雇用保障を最優先しつつ、従業員全体の賃金を一時的に引き下げること  
で、経営危機を乗り切りたいと思っている。以下の1から3について、答えなさい。

- 1 日本ではどのような方法で、従業員全体の賃金を引き下げることが考えられるか。その場合に、賃金引下げの有効性はどのような基準で判断されるか。
- 2 あなたの国で会社が同様の状況になった場合、どのような方法で賃金引下げが行われ、その有効性はどのように判断されるか。
- 3 以上の点に関する日本法とあなたの国の法との異同について、説明しなさい。